作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー アンティークブルー
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152138

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分２
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系、腎臓、免疫系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ
	遺伝性疾患のおそれの疑い
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系、腎臓、免疫系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	5～10	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	1 ～ 2	表示・通知対象物質
カーボンブラック	1333-86-4	0～1	通知対象物質
銅およびその化合物	147-14-8	0～1	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3mg/m³
銅およびその化合物	設定されていない	設定されていない

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　青緑色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし

動粘性率	：	データなし
溶解度	：	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	分類できない
皮膚腐食性・刺激性		：	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	区分2
発がん性		：	区分1A（シリカ：区分1A、カーボンブラック：区分2）
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分2（呼吸器系、腎臓、免疫系） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器、腎臓、免疫系 カーボンブラック：区分1呼吸器系）
誤えん有毒性		：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない

(慢性) ： 区分に該当しない（酸化チタン：区分4）

オゾン層への有害性 ： 分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 ： 廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装 ： 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号 ： 非該当

国連品名 ： 非該当

国連分類 ： 非該当

容器等級 ： 非該当

指針番号 ： 非該当

共通 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送 ： 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送 ： 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 ： 航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法 ： 非該当

労働安全衛生法 ： 名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、カーボンブラック、銅およびその化合物

化学物質管理促進法 ： 非該当

毒物及び劇物取締法 ： 非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意
本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー サルビアブルー
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152139

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系、腎臓、免疫系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	遺伝性疾患のおそれの疑い
	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系、腎臓、免疫系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	5～10	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	1～2	表示・通知対象物質
カーボンブラック	1333-86-4	0～1	通知対象物質
銅およびその化合物	147-14-8	0～1	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3mg/m³
銅およびその化合物	設定されていない	設定されていない

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　青紫色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし
動粘性率　：　データなし

溶解度	：	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	分類できない

皮膚腐食性・刺激性	：	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性	：	分類できない
生殖細胞変異原性	：	区分2（シリカ：区分2）
発がん性	：	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A、 カーボンブラック：区分2）
生殖毒性	：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露	：	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露	：	区分2（呼吸器、腎臓、免疫系） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系、 カーボンブラック：区分1呼吸器）
誤えん有毒性	：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性　（甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない

(慢性) ： 区分に該当しない（酸化チタン：区分4）

オゾン層への有害性 ： 分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 ： 廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装 ： 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号 ： 非該当

国連品名 ： 非該当

国連分類 ： 非該当

容器等級 ： 非該当

指針番号 ： 非該当

共通 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送 ： 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送 ： 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 ： 航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法 ： 非該当

労働安全衛生法 ： 名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、カーボンブラック、銅およびその化合物

化学物質管理促進法 ： 非該当

毒物及び劇物取締法 ： 非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意
本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ラベンダーグレー
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152140

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器系）
		区分2（腎臓、免疫系）
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	遺伝性疾患のおそれの疑い
	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害（呼吸器系）
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（腎臓、免疫系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	10～15	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	1～3	表示・通知対象物質
銅およびその化合物	147-14-8	0～0.2	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

4．応急措置

吸入した場合　　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に

連絡すること。

皮膚に付着した場合　：付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：情報なし

特有の消火方法　：可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。

皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件 ： 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項 ： 転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
銅およびその化合物	設定されていない	設定されていない

設備対策 ： 必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具 ： 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具 ： 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具 ： 取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具 ： 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態 ： 液体
色 ： 薄紫色
臭い ： わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲 ： データなし
可燃性 ： データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 ： データなし
引火点 ： データなし
自然発火点 ： データなし
分解温度 ： データなし
PH ： データなし
動粘性率 ： データなし
溶解度 ： 水に易溶
n-オクタノール/水分配係数 ： データなし
蒸気圧 ： データなし
密度及び/又は相対密度 ： データなし

相対ガス密度　：　データなし
粒子特性　：　データなし

10. 安全性および反応性

反応性　：　データなし
化学的安定性　：　情報なし
避けるべき条件　：　凍結
混触危険物質　：　情報なし
危険有害な分解生成物　：　燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報　：　情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	分類できない

皮膚腐食性・刺激性　：　分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性　：　分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性　：　分類できない
生殖細胞変異原性　：　区分2（シリカ：区分2）
発がん性　：　区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A、
カーボンブラック：区分2）
生殖毒性　：　分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分　：　分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露　：　分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露　：　区分1（呼吸器）（酸化チタン：区分1呼吸器系、
シリカ：区分1腎臓、免疫系）
区分2（腎臓、免疫系）
誤えん有毒性　：　分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性　（甲殻類）　：　情報なし
残留性・分解性　：　情報なし
生態蓄積性　：　情報なし
土壌中の移動性　：　情報なし
水生環境有害性(急性)　：　区分に該当しない
(慢性)　：　区分に該当しない（酸化チタン：区分4）
オゾン層への有害性　：　分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当

国連品名　：　非該当

国連分類　：　非該当

容器等級　：　非該当

指針番号　：　非該当

共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当

労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、銅およびその化合物

化学物質管理促進法　：　非該当

毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　 1 日
改訂日　2026 年　 6 月　 1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ネイビー
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152141

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	区分に該当しない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	警告
危険有害性情報	発がんのおそれの疑い

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
カーボンブラック	1333-86-4	0.5～2	表示・通知対象物質
銅およびその化合物	147-14-8	0～1	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

4．応急措置

吸入した場合　　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件	：	日光の直射を避ける。 通風のよいところに保管する。 火気、熱源から遠ざけて保管する。 盗難防止のために施錠保管する。
注意事項	：	転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3mg/㎥
銅およびその化合物	設定されていない	設定されていない

設備対策	：	必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。 作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具	：	作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具	：	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具	：	取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具	：	取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。 また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態	：	液体
色	：	濃紺色
臭い	：	わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲	：	データなし
可燃性	：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	：	データなし
引火点	：	データなし
自然発火点	：	データなし
分解温度	：	データなし
PH	：	データなし
動粘性率	：	データなし
溶解度	：	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	区分に該当しない
経皮			区分に該当しない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性		：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	区分に該当しない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	区分2（カーボンブラック：区分2）
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分に該当しない（カーボンブラック：区分2（呼吸器））
誤えん有毒性		：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない
(慢性)	：	区分に該当しない
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。 容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する

法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当
国連品名　：　非該当
国連分類　：　非該当
容器等級　：　非該当
指針番号　：　非該当
共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当
労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
カーボンブラック
名称を通知すべき危険物及び有害物
カーボンブラック、銅およびその化合物
化学物質管理促進法　：　非該当
毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ブラック
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152142

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分2
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	警告
危険有害性情報	発がんのおそれの疑い
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
カーボンブラック	1333-86-4	2～5	表示・通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

4．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。

直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護 : 適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤 : 水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤 : 情報なし

特有の消火方法 : 可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護 : 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項 : 河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材 : 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び : 日光の直射を避ける。

保管条件　　通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3mg/m³

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体

色　：　黒色

臭い　：　わずかにあり

沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし

可燃性　：　データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし

引火点　：　データなし

自然発火点　：　データなし

分解温度　：　データなし

PH　：　データなし

動粘性率　：　データなし

溶解度　：　水に易溶

n-オクタノール/水分配係数　：　データなし

蒸気圧　：　データなし

密度及び/又は相対密度　：　データなし

相対ガス密度　：　データなし

粒子特性　：　データなし

10．安全性および反応性

反応性　：　データなし

化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	区分に該当しない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	分類できない
皮膚腐食性・刺激性		：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	区分に該当しない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	区分2（カーボンブラック：区分2）
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分2（呼吸器）
誤えん有毒性		：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない
(慢性)	：	分類できない
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。 容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装	：	空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：非該当
国連品名　：非該当
国連分類　：非該当
容器等級　：非該当
指針番号　：非該当
共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送　：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送　：船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送　：航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：非該当
労働安全衛生法　：名称を表示すべき危険物及び有害物
カーボンブラック
名称を通知すべき危険物及び有害物
カーボンブラック
化学物質管理促進法　：非該当
毒物及び劇物取締法　：非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー アッシュ
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152143

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	3～4	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	0.4～0.6	表示・通知対象物質
カーボンブラック	1333-86-4	0.1	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合	：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	：	付着物を布にて素早く拭き取る。 直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。 大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
眼に入った場合	：	直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	：	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないようにすること。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護	：	適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤	：	水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
使ってはならない消火剤	：	情報なし
特有の消火方法	：	可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。 指定の消火剤を使用すること。 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上より行う。 容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
消火を行う者の保護	：	適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	：	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項	：	河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。 河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。
封じ込めおよび浄化の方法・機材	：	漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。 スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3mg/m³

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　灰色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし
動粘性率　：　データなし
溶解度　：　水に易溶

n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	区分に該当しない
経皮			区分に該当しない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性		：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	区分1A（酸化チタン、カーボンブラック：区分２、シリカ：区分1A、
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分2（呼吸器） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系、
誤えん有毒性		：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない
(慢性)	：	区分に該当しない（酸化チタン：区分4）
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当
国連品名　：　非該当
国連分類　：　非該当
容器等級　：　非該当
指針番号　：　非該当
共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当
労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、カーボンブラック
化学物質管理促進法　：　非該当
毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献
・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー スノー
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152144

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器系）
		区分2（腎臓、免疫系）
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	遺伝性疾患のおそれの疑い
	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害（呼吸器系）

長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（腎臓、免疫系）

注意書　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	20～25	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	2～5	表示・通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。

容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件 ： 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項 ： 転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³

設備対策 ： 必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具 ： 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具 ： 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具 ： 取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具 ： 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態 ： 液体
色 ： 白色
臭い ： わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲 ： データなし
可燃性 ： データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 ： データなし
引火点 ： データなし
自然発火点 ： データなし
分解温度 ： データなし
PH ： データなし
動粘性率 ： データなし
溶解度 ： 水に易溶
n-オクタノール/水分配係数 ： データなし
蒸気圧 ： データなし

密度及び/又は相対密度	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	:	データなし
化学的安定性	:	情報なし
避けるべき条件	:	凍結
混触危険物質	:	情報なし
危険有害な分解生成物	:	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	:	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		:	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性・刺激性		:	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		:	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		:	分類できない
生殖細胞変異原性		:	区分2（シリカ：区分2）
発がん性		:	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A）
生殖毒性		:	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		:	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		:	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		:	区分1（呼吸器系）（酸化チタン：区分1呼吸器系）
			区分2（腎臓、免疫系）（シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系）
誤えん有毒性		:	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	:	情報なし
残留性・分解性	:	情報なし
生態蓄積性	:	情報なし
土壌中の移動性	:	情報なし
水生環境有害性(急性)	:	区分に該当しない
(慢性)	:	区分に該当しない
オゾン層への有害性	:	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当

国連品名　：　非該当

国連分類　：　非該当

容器等級　：　非該当

指針番号　：　非該当

共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当

労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ

化学物質管理促進法　：　非該当

毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ペールレッド
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152145

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	
	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	2～4	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	0～1	表示・通知対象物質
カーボンブラック	1333-86-4	0～1	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策 ： 換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件 ： 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項 ： 転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+2)	3mg/m³

設備対策 ： 必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具 ： 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

手の保護具 ： 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

眼の保護具 ： 取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚および身体の保護具 ： 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態 ： 液体

色 ： 薄赤色

臭い ： わずかにあり

沸点または初留点及び沸点範囲 ： データなし

可燃性 ： データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 ： データなし

引火点 ： データなし

自然発火点 ： データなし

分解温度 ： データなし

PH ： データなし

動粘性率 ： データなし

溶解度 ： 水に易溶

n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	:	データなし
化学的安定性	:	情報なし
避けるべき条件	:	凍結
混触危険物質	:	情報なし
危険有害な分解生成物	:	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	:	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		:	区分に該当しない
経皮			区分に該当しない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	:	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性		:	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		:	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		:	分類できない
生殖細胞変異原性		:	分類できない（シリカ：区分2）
発がん性		:	区分1A（シリカ：区分1A、カーボンブラック：区分2）
生殖毒性		:	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		:	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		:	分類できないエチレングリコール：区分1中枢神経系、腎臓、血液系 酸化鉄：区分1呼吸器系）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		:	区分2（呼吸器） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器、腎臓、免疫系 カーボンブラック：区分1呼吸器系、酸化鉄：区分1呼吸器系）
誤えん有毒性		:	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	:	情報なし
残留性・分解性	:	情報なし
生態蓄積性	:	情報なし
土壌中の移動性	:	情報なし
水生環境有害性(急性)	:	区分に該当しない
(慢性)	:	区分に該当しない（酸化チタン：区分4）

オゾン層への有害性　：　分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当

国連品名　：　非該当

国連分類　：　非該当

容器等級　：　非該当

指針番号　：　非該当

共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当

労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、カーボンブラック

化学物質管理促進法　：　非該当

毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC）

・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ペールベージュ
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152146

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	3～7	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	0～1	表示・通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　薄ベージュ色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし
動粘性率　：　データなし
溶解度　：　水に易溶

n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		区分に該当しない
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	分類できない
皮膚腐食性・刺激性		：	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A）
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分2（呼吸器） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系）
誤えん有毒性		：	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない
(慢性)	：	区分に該当しない（酸化チタン：区分4）
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。 容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装	：	空容器は内容物を完全に除去してから処分する。 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号	：	非該当
国連品名	：	非該当
国連分類	：	非該当
容器等級	：	非該当
指針番号	：	非該当
共通		取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送	：	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	：	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	：	航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法	：	非該当
労働安全衛生法	：	名称を表示すべき危険物及び有害物 酸化チタン、シリカ、 名称を通知すべき危険物及び有害物 酸化チタン、シリカ
化学物質管理促進法	：	非該当
毒物及び劇物取締法	：	非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC）

・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ペールブラウン
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152147

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	1～3	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	0～1	表示・通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合	：	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	：	付着物を布にて素早く拭き取る。 直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。 大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
眼に入った場合	：	直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	：	誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 嘔吐物は飲み込ませないようにすること。 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
応急措置をする者の保護	：	適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤	：	水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
使ってはならない消火剤	：	情報なし
特有の消火方法	：	可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。 指定の消火剤を使用すること。 高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。 消火活動は風上より行う。 容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。
消火を行う者の保護	：	適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	：	作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
環境に対する注意事項	：	河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。 河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。
封じ込めおよび浄化の方法・機材	：	漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。 付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。 スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/㎥
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/㎥

設備対策　：必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：液体
色　：薄茶色
臭い　：わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：データなし
可燃性　：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：データなし
引火点　：データなし
自然発火点　：データなし
分解温度　：データなし
PH　：データなし
動粘性率　：データなし
溶解度　：水に易溶

n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	区分に該当しない
経皮			区分に該当しない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性		：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A）
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分2（呼吸器） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系）
誤えん有毒性		：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない
(慢性)	：	区分に該当しない（酸化チタン：区分4）
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。 容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装	：	空容器は内容物を完全に除去してから処分する。 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号	：	非該当
国連品名	：	非該当
国連分類	：	非該当
容器等級	：	非該当
指針番号	：	非該当
共通		取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送	：	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	：	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	：	航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法	：	非該当
労働安全衛生法	：	名称を表示すべき危険物及び有害物 酸化チタン、シリカ、 名称を通知すべき危険物及び有害物 酸化チタン、シリカ
化学物質管理促進法	：	非該当
毒物及び劇物取締法	：	非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC）

・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ペールグリーン
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152148

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	1～3	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	0～1	表示・通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　薄緑色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし
動粘性率　：　データなし
溶解度　：　水に易溶

n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	区分に該当しない
経皮			区分に該当しない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性		：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A）
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分2（呼吸器） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系）
誤えん有毒性		：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない
(慢性)	：	区分に該当しない（酸化チタン：区分4）
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。 容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装	：	空容器は内容物を完全に除去してから処分する。 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号	：	非該当
国連品名	：	非該当
国連分類	：	非該当
容器等級	：	非該当
指針番号	：	非該当
共通		取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送	：	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	：	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	：	航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法	：	非該当
労働安全衛生法	：	名称を表示すべき危険物及び有害物 酸化チタン、シリカ、 名称を通知すべき危険物及び有害物 酸化チタン、シリカ
化学物質管理促進法	：	非該当
毒物及び劇物取締法	：	非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC）

・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ペールブルー
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング業部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152149

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	1～3	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	0～0.5	表示・通知対象物質
銅およびその化合物	147-14-8	0～0.2	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
銅およびその化合物	設定されていない	設定されていない

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　薄青色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし
動粘性率　：　データなし
溶解度　：　水に易溶

n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	区分に該当しない
経皮			区分に該当しない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性		：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A）
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分2（呼吸器） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系）
誤えん有毒性		：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない
(慢性)	：	区分に該当しない（酸化チタン：区分4）
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当
国連品名　：　非該当
国連分類　：　非該当
容器等級　：　非該当
指針番号　：　非該当
共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当
労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、銅およびその化合物
化学物質管理促進法　：　非該当
毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献
・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　 1 日
改訂日　2026 年　 6 月　 1 日

安全データシート（混合物用)

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ペールブラック
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152150

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	区分に該当しない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	区分に該当しない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分に該当しない
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

注意書　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。

容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。

粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
カーボンブラック	1333-86-4	1未満	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

4．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3㎎/㎥

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　薄黒色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし
動粘性率　：　データなし
溶解度　：　水に易溶
n-オクタノール/水分配係数　：　データなし
蒸気圧　：　データなし
密度及び/又は相対密度　：　データなし
相対ガス密度　：　データなし
粒子特性　：　データなし

10．安全性および反応性

反応性　：　データなし
化学的安定性　：　情報なし
避けるべき条件　：　凍結
混触危険物質　：　情報なし
危険有害な分解生成物　：　燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報　：　情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	区分に該当しない
経皮			区分に該当しない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性		：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	区分に該当しない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない
発がん性		：	分類できない（カーボンブラック：区分2）
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	区分に該当しない
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分に該当しない（カーボンブラック：区分1（呼吸器系））
誤えん有毒性		：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない
(慢性)	：	区分に該当しない
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。 容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装	：	空容器は内容物を完全に除去してから処分する。 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号	：	非該当
国連品名	：	非該当

国連分類	：	非該当
容器等級	：	非該当
指針番号	：	非該当
共通		取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送	：	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	：	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	：	航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法	：	非該当
労働安全衛生法	：	名称を通知すべき危険物及び有害物 カーボンブラック
化学物質管理促進法	：	非該当
毒物及び劇物取締法	：	非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　 1 日
改訂日　2026 年　 6 月　 1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー バーガンディ
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152132

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	分類できない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	区分2（中枢神経系、呼吸器系、腎臓、血液系）
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系、腎臓、免疫系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	分類できない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ
	遺伝性疾患のおそれの疑い
	臓器の障害のおそれ（中枢神経系、呼吸器系、腎臓、血液系）
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系、腎臓、免疫系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	5～10	表示・通知対象物質
酸化鉄	1309-37-1	2～3	表示・通知対象物質
エチレングリコール	107-21-1	1～2	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	1 ～2	表示・通知対象物質
カーボンブラック	1333-86-4	0～1	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
酸化鉄	設定されていない	5mg/m³
エチレングリコール	設定されていない	100mg/m³（STEL）
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3mg/m³

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　赤色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし

PH	:	データなし
動粘性率	:	データなし
溶解度	:	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	:	データなし
化学的安定性	:	情報なし
避けるべき条件	:	凍結
混触危険物質	:	情報なし
危険有害な分解生成物	:	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	:	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		:	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		分類できない
	（粉塵、ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性・刺激性		:	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		:	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		:	分類できない
生殖細胞変異原性		:	区分2（シリカ：区分2）
発がん性		:	区分1A（シリカ：区分1A、カーボンブラック：区分2）
生殖毒性		:	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		:	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		:	区分2（中枢神経系、呼吸器系、腎臓、血液系） （エチレングリコール：区分1中枢神経系、腎臓、血液系 酸化鉄：区分1呼吸器系）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		:	区分2（呼吸器） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器、腎臓、免疫系 カーボンブラック：区分1呼吸器系、酸化鉄：区分1呼吸器系）
誤えん有毒性		:	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	:	情報なし
残留性・分解性	:	情報なし

生態蓄積性　：　情報なし
土壌中の移動性　：　情報なし
水生環境有害性(急性)　：　分類できない
(慢性)　：　区分に該当しない（酸化チタン：区分4）
オゾン層への有害性　：　分類できない
・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当
国連品名　：　非該当
国連分類　：　非該当
容器等級　：　非該当
指針番号　：　非該当
共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当
労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、酸化鉄、エチレングリコール
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、酸化鉄、エチレングリコール、カーボンブラック
化学物質管理促進法　：　非該当
毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC）

・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー コーラルピンク
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152133

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器系）
		区分2（腎臓、免疫系）
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	遺伝性疾患のおそれの疑い
	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害（呼吸器系）

長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（腎臓、免疫系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	10～15	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	1～3	表示・通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　ピンク色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし
動粘性率　：　データなし
溶解度　：　水に易溶

n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	:	データなし
化学的安定性	:	情報なし
避けるべき条件	:	凍結
混触危険物質	:	情報なし
危険有害な分解生成物	:	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	:	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		:	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性・刺激性		:	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		:	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		:	分類できない
生殖細胞変異原性		:	区分2（シリカ：区分2）
発がん性		:	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A、カーボンブラック：区分2）
生殖毒性		:	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		:	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		:	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		:	区分1（呼吸器）（酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1腎臓、免疫系） 区分2（腎臓、免疫系）
誤えん有毒性		:	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	:	情報なし
残留性・分解性	:	情報なし
生態蓄積性	:	情報なし
土壌中の移動性	:	情報なし
水生環境有害性(急性)	:	区分に該当しない
(慢性)	:	区分に該当しない（酸化チタン：区分4）

オゾン層への有害性　：　分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当

国連品名　：　非該当

国連分類　：　非該当

容器等級　：　非該当

指針番号　：　非該当

共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当

労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ

化学物質管理促進法　：　非該当

毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC）

・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー ベージュ
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152134

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器系）
		区分2（腎臓、免疫系）
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	遺伝性疾患のおそれの疑い
	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害（呼吸器系）

長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（腎臓、免疫系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	13～18	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	1～3	表示・通知対象物質
カーボンブラック	1333-86-4	0～0.2	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+2)	3mg/m³

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　ベージュ色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし
動粘性率　：　データなし
溶解度　：　水に易溶

n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	:	データなし
化学的安定性	:	情報なし
避けるべき条件	:	凍結
混触危険物質	:	情報なし
危険有害な分解生成物	:	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	:	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		:	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		区分に該当しない
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性・刺激性		:	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		:	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		:	分類できない
生殖細胞変異原性		:	区分2（シリカ：区分2）
発がん性		:	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A、 カーボンブラック：区分2）
生殖毒性		:	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		:	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		:	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		:	区分1（呼吸器）（酸化チタン：区分1呼吸器系、 シリカ：区分1腎臓、免疫系、カーボンブラック：区分2呼吸器系） 区分2（腎臓、免疫系）
誤えん有毒性		:	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	:	情報なし
残留性・分解性	:	情報なし
生態蓄積性	:	情報なし
土壌中の移動性	:	情報なし
水生環境有害性(急性)	:	区分に該当しない
(慢性)	:	区分に該当しない（酸化チタン：区分4）

オゾン層への有害性　：　分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当

国連品名　：　非該当

国連分類　：　非該当

容器等級　：　非該当

指針番号　：　非該当

共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当

労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、カーボンブラック

化学物質管理促進法　：　非該当

毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意
本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー キャメルブラウン
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152135

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	分類できない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	区分2（呼吸器系）
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系、腎臓、免疫系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	分類できない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	遺伝性疾患のおそれの疑い
	発がんのおそれ
	臓器障害のおそれ（呼吸器）
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系、腎臓、免疫系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	5～10	表示・通知対象物質
酸化鉄	1309-37-1	1～2	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	1～5	表示・通知対象物質
カーボンブラック	1333-86-4	0～1	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
酸化鉄	設定されていない	5mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3mg/m³

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　茶色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし

動粘性率	：	データなし
溶解度	：	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		分類できない
	（粉塵、ミスト）	：	分類できない

皮膚腐食性・刺激性	：	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性	：	分類できない
生殖細胞変異原性	：	区分2（シリカ：区分2）
発がん性	：	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A、 カーボンブラック：区分2）
生殖毒性	：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露	：	区分2（呼吸器）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露	：	区分2（呼吸器、腎臓、免疫系） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系、 カーボンブラック：区分1呼吸器）
誤えん有毒性	：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性　（甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし

水生環境有害性(急性)　：　分類できない
(慢性)　：　区分に該当しない（酸化チタン：区分4）
オゾン層への有害性　：　分類できない
・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当
国連品名　：　非該当
国連分類　：　非該当
容器等級　：　非該当
指針番号　：　非該当
共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当
労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、酸化鉄、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、酸化鉄、シリカ、カーボンブラック
化学物質管理促進法　：　非該当
毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献
・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意
本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー グレイッシュブラウン
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152136

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	区分に該当しない
	急性毒性 経皮	区分に該当しない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	5～10	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	0～1	表示・通知対象物質
カーボンブラック	1333-86-4	0～1	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

７．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。

容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件 ： 日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項 ： 転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3mg/m³

設備対策 ： 必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具 ： 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具 ： 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具 ： 取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具 ： 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

９．物理的および化学的性質

状態 ： 液体
色 ： こげ茶色
臭い ： わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲 ： データなし
可燃性 ： データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 ： データなし
引火点 ： データなし
自然発火点 ： データなし
分解温度 ： データなし
PH ： データなし
動粘性率 ： データなし
溶解度 ： 水に易溶
n-オクタノール/水分配係数 ： データなし

蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	区分に該当しない
経皮			区分に該当しない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性		：	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性		：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性		：	分類できない
生殖細胞変異原性		：	分類できない（シリカ：区分2）
発がん性		：	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A、カーボンブラック：区分2）
生殖毒性		：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分		：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露		：	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露		：	区分2（呼吸器、腎臓、免疫系） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系、カーボンブラック：区分1呼吸器）
誤えん有毒性		：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性 （甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない
(慢性)	：	区分に該当しない（酸化チタン：区分4）
オゾン層への有害性	：	分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装　：　空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号　：　非該当
国連品名　：　非該当
国連分類　：　非該当
容器等級　：　非該当
指針番号　：　非該当
共通　取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
陸上輸送　：　消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送　：　船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送　：　航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法　：　非該当
労働安全衛生法　：　名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、カーボンブラック
化学物質管理促進法　：　非該当
毒物及び劇物取締法　：　非該当

16. その他の情報

参考文献
・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）
・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）
・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意

本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

作成日　2023 年　12 月　1 日
改訂日　2026 年　6 月　1 日

安全データシート（混合物用）

1．製品および会社情報

製品名	ルーセントカラーfor floor トナー オリーブ
会社名	ヤブ原産業株式会社
住所	〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
担当部署	セールス＆マーケティング部
作成者	技術開発部
電話番号	048-297-4111
FAX番号	048-290-1198
緊急連絡先	048-297-4111
推奨用途及び使用上の制限	無機質専用水性仕上材
整理番号	152137

2．危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分に該当しない	
健康に対する有害性	急性毒性 経口	分類できない
	急性毒性 経皮	分類できない
	急性毒性 吸入：気体	分類対象外
	：蒸気	区分に該当しない
	：粉塵、ミスト	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	分類できない
	授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器/全身毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器系、腎臓、免疫系）
	誤えん有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

※上記以外は区分に該当しないか分類できない

ラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	遺伝子疾患のおそれの疑い
	発がんのおそれ
	長期わたる又は反復暴露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系、腎臓、免疫系）

注意書　　【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全書類を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
適切な保護手袋/保護眼鏡/保護マスク/保護面/保護衣を着用すること。
粉じん/煙/蒸気/スプレー/ミストを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
皮膚等に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

【保管】

容器を密栓して、涼しく換気のよいところで施錠して保管すること。
子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3．組成、成分情報

単一製品、混合物の区分　：　混合物

物質の特定　　成分及び含有量

物質名	CAS No.	含有量（%）	備考
酸化チタン	13463-67-7	5～10	表示・通知対象物質
シリカ	7631-86-9	1～2	表示・通知対象物質
銅およびその化合物	147-14-8	0～1	通知対象物質
カーボンブラック	1333-86-4	0～1	通知対象物質

※　代表値であり、規格値ではありません。

４．応急措置

吸入した場合　：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　：　付着物を布にて素早く拭き取る。
直ちに、全ての汚染され衣類を取り除くこと。
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合　：　直ちに大量の清浄な流水で１５分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合　：　誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
嘔吐物は飲み込ませないようにすること。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護　：　適切な保護具（保護メガネ、防塵マスク、手袋等）を着用する。

５．火災時の措置

この物自体は可燃性ではないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤　：　情報なし

特有の消火方法　：　可燃性のものを周囲からすばやく取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
消火活動は風上より行う。
容器が高温で破裂するおそれがあるので消火活動には十分距離をとること。
周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

消火を行う者の保護　：　適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置　：　作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用する。
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項　：　河川への排出などにより、環境への影響を起こさないように注意する。
河川、排水管等への汚染が生じる場合には、関係機関に連絡する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材　：　漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物等は関係法規にもとづいて処置すること。
スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こすおそれもあり注意する。

7．取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　換気の良い場所で取り扱う。
容器はその都度密閉する。
皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。

保管

技術的対策及び保管条件　：　日光の直射を避ける。
通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
盗難防止のために施錠保管する。

注意事項　：　転倒、転落しないように注意する。水、湿気を避ける。

8．暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度 ACGIH（TLV-TWA）
酸化チタン	設定されていない	10mg/m³
シリカ	E＝3.0/(1.19Q+1)	0.025mg/m³
銅およびその化合物	設定されていない	設定されていない
カーボンブラック	E＝3.0/(1.19Q+1)	3mg/m³

設備対策　：　必要に応じて局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
作業場には洗眼および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸器用の保護具　：　作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具　：　有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具　：　取扱いには保護メガネを着用すること。
皮膚および身体の保護具　：　取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。
また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9．物理的および化学的性質

状態　：　液体
色　：　オリーブ色
臭い　：　わずかにあり
沸点または初留点及び沸点範囲　：　データなし
可燃性　：　データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界　：　データなし
引火点　：　データなし
自然発火点　：　データなし
分解温度　：　データなし
PH　：　データなし
動粘性率　：　データなし

溶解度	：	水に易溶
n-オクタノール/水分配係数	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び/又は相対密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性	：	データなし

10. 安全性および反応性

反応性	：	データなし
化学的安定性	：	情報なし
避けるべき条件	：	凍結
混触危険物質	：	情報なし
危険有害な分解生成物	：	燃焼によりCO、No x 等の有害ガスを発生するおそれがある。
その他の有害性情報	：	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口		：	分類できない
経皮			分類できない
吸入	（気体）		分類対象外
	（蒸気）		区分に該当しない
	（粉塵、ミスト）	：	分類できない

皮膚腐食性・刺激性	：	分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性	：	分類できない
呼吸器感作性または皮膚感作性	：	分類できない
生殖細胞変異原性	：	区分2（シリカ：区分2）
発がん性	：	区分1A（酸化チタン：区分２、シリカ：区分1A） カーボンブラック：区分2）
生殖毒性	：	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分	：	分類できない
特定標的臓器・全身毒性ー単回ばく露	：	分類できない（シリカ：区分3気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性ー反復ばく露	：	区分2（呼吸器） （酸化チタン：区分1呼吸器系、シリカ：区分1呼吸器系、腎臓、免疫系） カーボンブラック：区分1呼吸器）
誤えん有毒性	：	区分に該当しない

12. 環境影響情報

生態毒性　（甲殻類）	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中の移動性	：	情報なし
水生環境有害性(急性)	：	区分に該当しない

(慢性) ： 区分に該当しない（酸化チタン：区分4）

オゾン層への有害性 ： 分類できない

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 ： 廃液、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理をする。
容器、機器などを洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器および包装 ： 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意

国連番号 ： 非該当

国連品名 ： 非該当

国連分類 ： 非該当

容器等級 ： 非該当

指針番号 ： 非該当

共通 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

陸上輸送 ： 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送 ： 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送 ： 航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

消防法 ： 非該当

労働安全衛生法 ： 名称を表示すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、
名称を通知すべき危険物及び有害物
酸化チタン、シリカ、カーボンブラック、銅およびその化合物

化学物質管理促進法 ： 非該当

毒物及び劇物取締法 ： 非該当

16. その他の情報

参考文献

・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物（塗料用）〕（日本塗料工業会）

・SDS用物質データベース（日本塗料工業会）

・国際化学物質安全カード（ICSC）
・原料SDS

注意
本データシートは、作成または改定時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報など）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には、追加・修正を行ない改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。